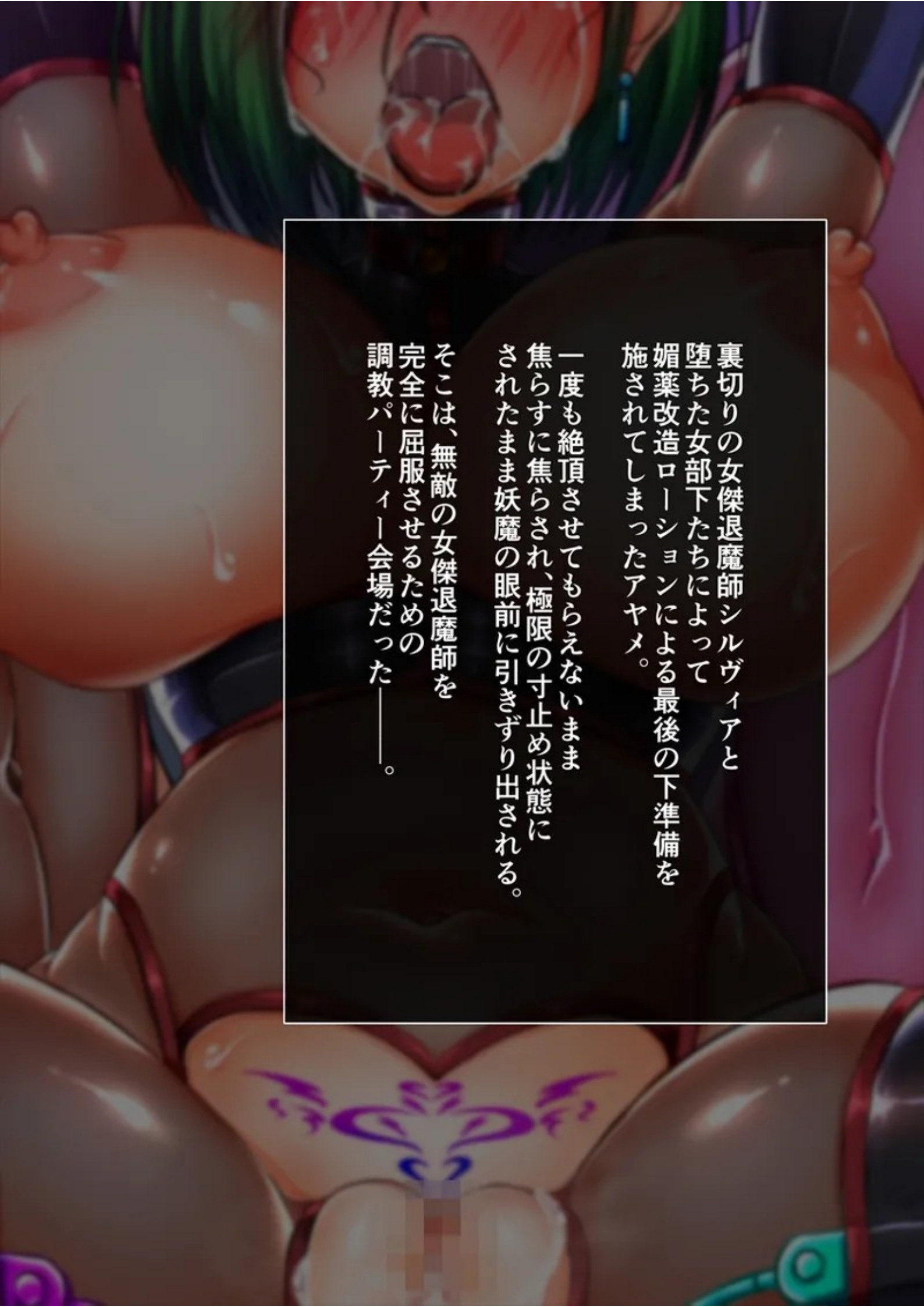

裏切りの女傑退魔師シルヴィアと
堕ちた女部下たちによって
媚薬改造ローションによる最後の下準備を
施されてしまったアヤメ。
一度も絶頂させてもらえないまま
焦らすに焦らされ、極限の寸止め状態に
されたまま妖魔の眼前に引きずり出される。
そこは、無敵の女傑退魔師を
完全に屈服させるための
調教パーティー会場だった――。

……こ、このたび、は、
このアヤメの……ッッ
『元』・女傑退魔師、の
『お披露目パーティー』に
お集まりくださっ、て…ッッ
まことに……
ありが、とう……
ございます……ッッ!!
言い終わるや否や、
ステージを囲む
妖魔たちから
一斉に歓声があがる。

アヤメが立たされているのは、
元は監獄の食堂だった大部屋を
魔改造したパーティーステージ。
大雑把に
用意された即席の
ダンスステージに
彼女は立たされ、
ステージの前には
監獄中から集まった妖魔と
そのボスであるカガチが
ふんぞり返っている。
まるで場末の
ストリップバーのような
様相となっていた。

む、無敵の退魔師だった私、は、カガチ様に情けなくも捕まり……
肉体と脳を改造され……全身性感帯で万年発情期の淫乱女に作り替えられ……
触れられただけで無様にイキまくる……アクメ人形に生まれ変わりまし、た……!!
彼女の説明に呼応するように膣内のバイブが卑猥な振動音を響き渡らせる。

さ、さらに……
『マゾメス化』の呪いを、
かけられ……
徹底的な、
マゾ調教を施された、
ことに、よって……
誰にも、逆らえない……
この監獄内で、
もっとも立場の低い……
底辺マゾ奴隷として、
せ、潜在意識を、
改造済みで、す……！

くぁぁ……ッ❤
抵抗しようと
している、のに…ッッ
妖魔に命令されると…ッ
心が、萎えしぼんで、
しまう……ッッ!!
ッッそれ以上に、
イキたい……ッッ!!
イキたくて
堪らない…ッ!!
ここに来るまでに、
焦らしに、焦らされ、
てぇ……ッッ!!

命令されたとおりに
卑猥な屈服ポーズを取らされ、
自らの言葉で調教された内容を
告白させられるアヤメ。
肉体が操作される、というより、
妖魔に対する恐怖心から
無意識に命令に従ってしまう。
マゾ調教によって
潜在意識に負け犬精神を
刻み込まれたことによる
卑劣な洗脳暗示。
妖魔や、元部下にまで
ビクビクしながら命令に従う
女傑退魔師の姿は
ひたすらに無様に映っている。

さて❤
今回の調教内容は
『絶頂懇願ゲーム』です❤
現在この女は
『絶頂禁止』の暗示を
掛けられており、
一週間以上にわたって
極限の寸止め状態を
強いられています❤
そんな彼女に
『自らの意思』で『絶頂したい』
と宣言させるのが目的です❤

しかし、彼女も
屈強な精神力を誇る
歴戦の女退魔師……
……と
いうわけで……❤
ただ寸止めしただけは
いつまで経っても
ゲームが進みません
司会役のシルヴィアが
手元のタイマーを見ながら
意味ありげにニヤつく。
――その瞬間だった。

ッッなに
これぇぇッッ!?
イキたいぃッッ❤❤
もっとイキたく
なってるぅうッッ❤❤❤
触られてるッッ
わけでもないのに❤❤
アクメしたい
気持ちだけが
強まってぇぇッッ❤❤❤

――このように❤
彼女には
『一分経過』ごとに
『絶頂欲求』が倍増していく
洗脳暗示をかけてあります❤
その倍率は『十倍』❤
時間が経てば経つほど
『十倍』ずつ、際限なく絶頂欲が
高まっていく仕組みです❤

シルヴィアの言うとおり、寸止めされた肉体を持て余すアヤメの『イキたい』という欲望が強烈な暗示によって倍増される。
淫乱に改造された身体がさらに鋭敏に、快楽を求めて研ぎ澄まされていく。
暗示洗脳によって強制的に卑猥なポーズを取らされている肢体が不自然に痙攣しはじめ、
『絶頂したい』という悪魔の囁きが、彼女に残された数少ない理性を無慈悲に圧し潰していく。

ふふふ……❤
どうですアヤメ様
……いや、メス豚アヤメ
イキたくて仕方ない
でしょう？
簡単ですよ？
マゾ奴隷であることを認めて
『イカせてください』って
懇願すればいいんです
今度は
無意識なんかじゃなく
『自分自身の意思』で❤
そうすれば暗示が解けて
心ゆくまま敗北絶頂
することができますよ？

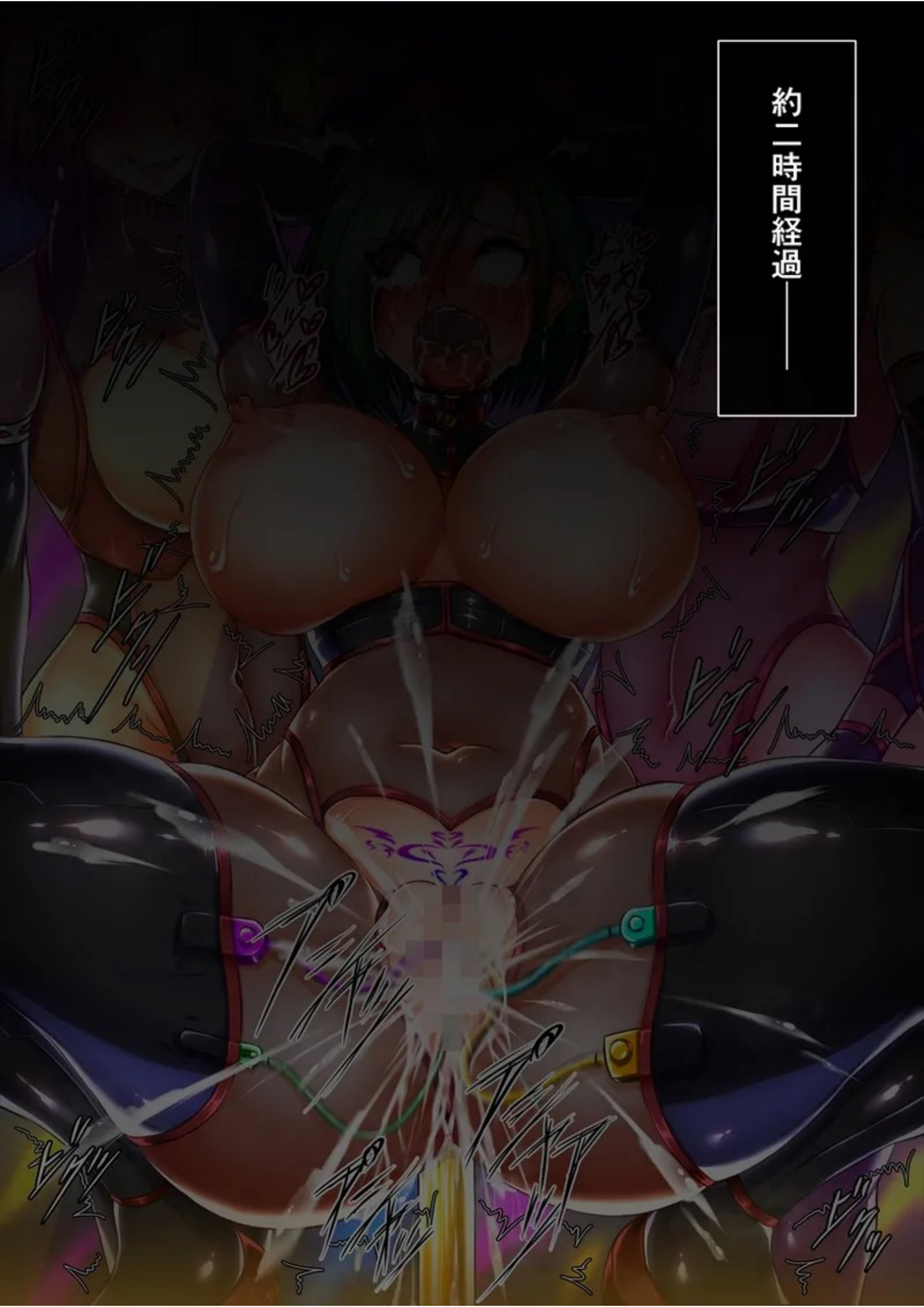
だが自らの意思で
屈服宣言を行えば
お前の魂を侵す
淫紋の浸蝕スピードも
飛躍的に上がるがな❤
ほらほら
そうこうしている間に
次の一分が来るぞ？
ニヘ〜❤……

絶頂欲求２０倍

屈服を拒絶すれば
絶頂欲求はどこまでも
高まっていく
だが自ら屈服すれば
お前の魂そのものが
淫紋に浸蝕されていく
卑猥に悶えながら
絶頂欲求に耐えようが
イキたいがために
負けを認めようが
お前にもはや
逃げ場などないと
いうことだ
フフフ……❤

おおッッ❤❤
みとめなひッ❤❤
わたしはぁ❤
誇りたかきッ❤❤
たいましぃ❤❤
ようまにッ❤❤
くっしたり
なんかぁ❤❤❤
はい❤
一分経過❤

絶頂欲求３０倍


約二時間経過――

絶頂欲求
１２００倍

理性の欠片も感じられない、
発情した獣のような嬌声が
部屋全体に響きわたる。
淫らに改造された肉体に
千倍以上に増幅された
絶頂欲求が重なり、
焦らしに焦らされた
寸止め状態のカラダが
逃げ場を求めるように
淫らに跳ね回る。
妖魔たちは
そんな女傑退魔師の
痴態を肴に酒を飲みながら
大笑いではやし立てている。

おほぉおおおおおッッ❤❤❤
イキたいイキたいイキたいイキたいぃッッ❤❤❤
勃起乳首さわってぇッ❤❤
クソザコマ○コぐちょぐちょしてぇッッ❤❤❤
アクメさせてえええッッ❤❤❤

フフ❤
絶頂欲求
千倍超え……
普通の女なら
とっくに発狂している
レベルの焦らし責めだ
……どうだ？
そろそろ屈服を
認めてもいいんじゃ
ないか？
堕ちた女傑退魔師が
弱った心につけこむように
優しい声色で語りかける。

なぁに『認めるだけ』だ本当に負けるわけじゃない
焦らされて発狂してしまうより
今はこの場を乗り切るのが大事……そうだろう？
うう、あ…ッッ…!!

……そう…ッ
そうだ、ぁ……❤
❤
反撃のチャンスを❤
つかむために❤❤
仕方ないことなんだ❤
❤
だからオマ○コ奴隷に
なるのも仕方ない❤
❤
ことなんだッッ❤
❤
いまだけぇッッ❤
❤
いまだけだからぁ
ッッ❤❤
❤

普段の彼女なら
絶対に考えないであろう
後ろ向きな思考。
しかし、数ヵ月以上の
マゾ調教と洗脳によって
精神的な抵抗力までも
強制的に弱体化されているため、
卑屈な思考、快楽優先の考え方が
無意識下に
刻み込まれてしまった結果、
極限まで追い詰められてしまう。
……そうなっては、
もはやその
『一歩』を踏み出すのに
抵抗など出来なかった――。

……み……
みと、める…ッ…❤
イカせて、ほしい…ッッ
イキたいんだ…ッッ…❤❤
だから……ッッ
負けでいい…ッッ❤
負けでいいからぁ…❤❤
負けをぉ……ッッ
みとめるからぁ…ッッ!!

ッッ私はぁッッ❤❤
だらしのない❤❤
マゾ奴隷なんだッッ❤❤
妖魔にイカせて
ほしくてッッ❤❤
仕方ないんだッッ❤❤
負けでもいいからぁ❤❤
アクメしたいんだ❤❤
屈服アクメ❤❤❤
キメたいんだッッ❤❤

イキたいッッ❤
イキたいイキたいイキたいッッ❤❤
屈服するからッッ❤❤
負けでいいからッ❤❤
だからイカせてぇ❤❤

屈服アクメ
させてぇッッ❤❤❤

散々焦らされてからの、
『屈服宣言』をトリガーとした
寸止め解放の大絶頂。
強制でも無意識でもなく、
『自らの意思』で負けを
認めたことによる敗北アクメ。
強烈な敗北感と屈辱感が
歴戦の女退魔師のプライドを
粉々に砕いていく、が……
それらの負の感情さえ、
マゾ洗脳された脳は
最高の多幸感として
受け止めてしまっていた。

おほぁッッ❤❤
イケたぁッッ❤❤
やっとイケたぁ❤❤❤
これでぇ❤❤
すこしだけ❤❤
すこしだけでも
やすんでぇ……❤❤
――はい❤
一分経過❤

絶頂欲求
1220倍

なん、でぇッ!?
言った、のにッ❤❤
ッッッッッ!?
言うとおりにッ❤❤
したのにぃッ❤❤❤
子供のように泣きじゃくりながら
困惑するアヤメに向かって、
シルヴィアがニチャリと口を開く。

『一度イったら止める』なんて誰か言ったか？マゾ豚アヤメ❤
お前のなけなしのプライドが全てすり潰されるまで……
何度でも屈服宣言をしてもらうからな❤
んきひぁッッ❤❤そ、んなぁッッッ❤❤

ああそうそう
お前がブザマに
屈服宣言する度に
そのペナルティとして
絶頂欲求が上昇する
倍率が『十倍ずつ』
上がっていくぞ❤
今なら『二十倍ずつ』
次に屈服すれば
『三十倍ずつ』上昇
といった具合にな？
再び激しく悶え始めた
女傑退魔師を眺めながら
堕ちた退魔師は淡々と
絶望的なルールを告げる。

なぁに、一度でも
屈服を認めてしまえば
それが『クセ』となって
どんどん心が折れるまでの
スピードは早くなる
いくらでも焦らされ、
何度でも屈服すると
いいさ……❤
ほぉら❤
次の一分経過だ❤

絶頂欲求
1240倍

絶頂欲求5480倍
屈服回数11回目

まッッ❤❤
負けだッッ❤❤
負けで
いいからぁッッ❤❤
最弱の❤❤
ザコ退魔師で
いいからぁぁッ❤❤
だから❤❤
イカせてぇ
ええッッ❤❤❤

絶頂欲求20670倍
屈服回数36回目
負け負け負けぇ❤❤❤
また敗北アクメする❤❤
敗北アクメしたいぃ❤❤
負けでいいからぁ❤❤
アクメぁあああぁあッッッ❤❤❤

絶頂欲求８７４９７０倍
屈服回数７９回目
負けですぅッッ❤❤
負けましたぁッッ❤❤
ブザマ敗北❤❤❤
しますからぁ❤❤❤
屈服アクメさせて
くださいぁぁ
ッッ❤❤❤❤
おぉ
おほ

絶頂欲求
２１７９４７０倍
屈服回数
２６４回目

ッッッッ❤❤❤
すみません
でしたぁッッ❤❤❤
妖魔様に
逆らってぇッッ❤❤
ド変態マゾ奴隷の❤❤
分際でぇッッ❤❤❤
ほんとうに❤❤
もうしわけありません
でしたぁッッ❤❤❤

わたしはッ❤❤
下級妖魔様にさえ
勝てない❤❤❤❤❤
最弱のぉッ❤❤
ザコメス退魔師
ですぅッッ❤❤❤❤
オチ○ポ
見せられただけで
負けちゃう❤❤
最低最弱の
メスブタ便器
ですッッ❤❤

屈服しますッ❤❤❤
オチ○ポ奴隷に
なりますからぁッッ❤❤❤
もう誰にも❤❤
逆らえませんッッ❤❤❤
身も心もぉッ❤❤
負けましたぁッッ❤❤
完全屈服
しましたぁッッ❤❤❤

だからッ❤❤
イカせてぇッ❤❤
イカせてください❤❤
おねがいしますぅ❤❤❤
イカせてイカせて
イカせてぇッッ❤❤❤
負けるからぁッッ❤❤
敗北しますから
ぁッッ❤❤❤

完全敗北アクメ
キメさせてぇッッ❤❤❤

フフフ……❤
淫紋の完全定着を確認……❤
これで私の役目は無事に果たせたというわけだな❤
……これでよかったですか？カガチ様……❤
シルヴィアが顔を向けた先にはこれまでニヤつきながら調教を静観していたボス妖魔カガチが立っている。

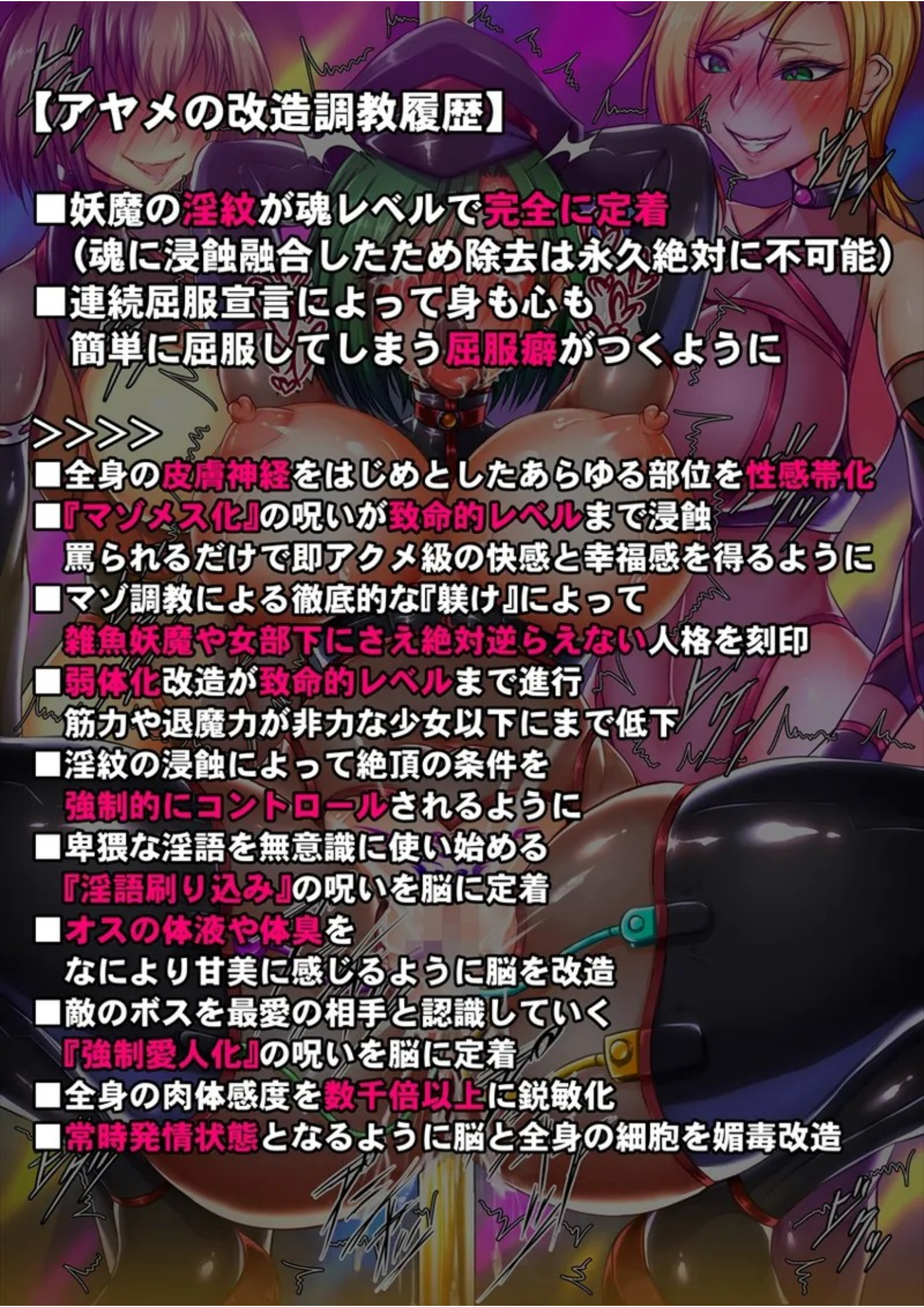
ギャヒヒ……！
ご苦労だったぜ
シルヴィア
『オレのペット』の
お披露目として最高の
屈服ショーだった
……そしてアヤメェ
残念だったなぁ？
オマエの必死の抵抗も
虚しく淫紋が完全定着
しちまったぜ？
ギャヒヒ……！

繰り返しの
『屈服宣言』によって
自らの意思で
プライドを捨てさせて
脆弱になった精神力の
スキマを縫うように
淫紋の浸蝕が完了したのさ
もはや淫紋も
『永久』に、『絶対』に
除去できねぇ
魂そのものが
淫紋と融合一体化
しちまったからなぁ？
ギャヒヒヒ……！

これでオマエは
肉体だけでなく
魂までも妖魔の所有物と
なったわけだ
全身ドスケベボディに
ブザマに改造されて、
高潔な魂さえも
オレ様に掌握されて
正真正銘の
奴隷人形となった
あとは残された
オマエ自身の人格を
好き勝手に擦り壊すだけ……
ギャヒヒ……！

まぁ、オマエの『お披露目パーティー』はまだ始まったばかりだ
これから抵抗ひとつできなくなったオマエのココロとカラダをじっくりと……
とびっきりブザマな醜態を晒させながら壊していってやるよ
ギャヒヒ……！ギャヒャヒャヒャ……！

度重なる屈服宣言の
強要によってプライドを
グチャグチャに破壊され
弱り切った精神の隙を突かれて
ついに淫紋の完全定着まで
許してしまったアヤメ。
最後の防衛線さえ
妖魔に踏みにじられてしまった
敗辱の女傑退魔師は、
ニヤついた表情で
近づいてくる妖魔たちに
為す術もないまま
惨めな絶頂痙攣を繰り返す――。


【アヤメの改造調教履歴】
■妖魔の淫紋が魂レベルで完全に定着
（魂に浸蝕融合したため除去は永久絶対に不可能）
■連続屈服宣言によって身も心も
簡単に屈服してしまう屈服癖がつくように
>>>>
■全身の皮膚神経をはじめとしたあらゆる部位を性感帯化
■『マゾメス化』の呪いが致命的レベルまで浸蝕
罵られるだけで即アクメ級の快感と幸福感を得るように
■マゾ調教による徹底的な『躾け』によって
雑魚妖魔や女部下にさえ絶対逆らえない人格を刻印
■弱体化改造が致命的レベルまで進行
筋力や退魔力が非力な少女以下にまで低下
■淫紋の浸蝕によって絶頂の条件を
強制的にコントロールされるように
■卑猥な淫語を無意識に使い始める
『淫語刷り込み』の呪いを脳に定着
■オスの体液や体臭を
なにより甘美に感じるように脳を改造
■敵のボスを最愛の相手と認識していく
『強制愛人化』の呪いを脳に定着
■全身の肉体感度を数千倍以上に鋭敏化
■常時発情状態となるように脳と全身の細胞を媚毒改造

next Scene...